

センチュウ防除に これ、いいね、



ビーラム® 粒 剤

殺線虫剤



- 新規有効成分の新・殺線虫剤です。
- 各センチュウ類に対して優れた効果を発揮し、収量や品質の向上が期待できます。
(推奨使用量: 20kg/10a)
- 臭気が少なく、人や環境生物への影響が小さい薬剤です。
- 撒きやすい形状の粒剤で、被覆やガス抜き等の作業が不要なので省力的です。

さとうきび・
やまのいも(むかご)・
たばこにも
登録拡大!



かんしょ



ばれいしょ



だいこん



にんじん



さといも



ごぼう



やまのいも



にんにく



しょうが



きく

詳しい使い方、
登録内容とSDSは
こちらから。



適用害虫および使用方法

2025年10月現在の登録内容

作物名	適用害虫名	使用量(kg/10a)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルオピラムを含む農薬の総使用回数		
ばれいしょ	ジャガイモシストセンチュウ ジャガイモシロシストセンチュウ ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	20	植付前	1 回	全面土壌混和	1 回		
かんしょ	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	10 ～ 20			作条土壌混和			
	ネコブセンチュウ	15 ～ 20						
やまのいも	ネコブセンチュウ	20			全面土壌混和			
やまのいも (むかご)								
しょうが		10 ～ 20						
さといも	ネグサレセンチュウ	20	は種前		全面土壌混和			
だいこん	ネグサレセンチュウ	10 ～ 20						
	ネコブセンチュウ	20						
にんじん	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	10 ～ 20			20		播溝土壌混和	
ごぼう	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	20					植付前	全面土壌混和
にんにく	イモグサレセンチュウ							
きく	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ		定植前					
さとうきび	イシュクセンチュウ ネグサレセンチュウ		植付前				作条土壌混和	
たばこ	ネコブセンチュウ							

注意事項

- 間引き菜、つまみ菜に使用しないで下さい。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにして下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 誤食などのないよう注意して下さい。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせて下さい。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けて下さい。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意して下さい。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落として下さい。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをして下さい。
- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

全面土壌混和の使用上のポイント ※ごぼう(播溝土壌混和)、たばこ・かんしょ(作条土壌混和)は使用方法が異なります。

散布

植付、は種前に土壌全面に均一に散布するため、使用量は20kg/10aを推奨します。

長年の連作により線虫密度が高まっている圃場や、前作の残渣の残る圃場等、線虫被害が多いと予想される圃場では他の薬剤（土壌くん蒸剤）との体系処理をお奨めします。

混和

表層から20cm程度の深さまで、ムラがないように、丁寧に土壌と混和して下さい。（土壌中の線虫は地表面から10～20cmの層に多く分布）

処理時の土壌の水分条件は手で握って開くとやや割れ目ができる程度が目安です。

登録の使用方法が全面土壌混和と処理の場合は、播溝・植溝混和、すじ条、作条・畝処理、植穴処理等で使用しないで下さい。使用方法を守って使用して下さい。

播溝混和

すじ条

作条・畝処理

植穴

- 使用前にはラベルをよく読んで下さい。
- ラベルの記載以外には使用しないで下さい。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。